

天文学の扉を開こう

12月の夜空

【生きていた彗星】

12月の夜空の楽しみといえば、ふたご座流星群でしょうか。一等星が7つ輝く賑やかな空に華を添えてくれる、冬の風物詩です。

流れ星の正体は、地球大気に飛び込んできた塵(ちり)です。高速で大気に突っ込むので、その衝撃で高温になって蒸発し、これに巻き込まれた大気といっしょに輝くのです。以前紹介したように、塵の故郷は彗星です。汚れた氷にもたとえられる彗星は、太陽に近づいた時に、雪玉が融けるように表面が融け、蒸発します。このとき解き放たれたガスと一緒に塵が放り出されます。塵は集団となって、彗星と似たような軌道を巡り、そこに地球がさしかかると、大気に飛び込んで輝きを放つというわけです。

ところが、塵の放出源が分かっている流星群のうち、ふたご座流星群だけは、違いました。塵の出所が小惑星「ファエトン」だということです。これはどうしたことでしょう？

塵の群れは、放出されてから時間が経つと、軌道に沿ってだんだん広がっていきます。はじめは塵の群れとうまく出会ったときだけ流星群が見られたものが、何百年という時間が過ぎると、地球が塵の軌道にさしかかるたびに見られるようになります。このような流星群を「定常群」と呼びます。ふたご座流星群は定常群のひとつですから、塵が放出されてからずいぶん時間が経っていると考えられます。そこで、ファエトンは枯れた彗星、つまり活動を止めてしまった彗星で、今は小惑星の顔をしている天体だと考えれば良いということになりました。

ところが、最近、ファエトンがガスを噴き出している様子が観測されました。なんと、終わったと思っていた彗星が生きていたのです。これで、放出源が分かっている流星群は、すべて彗星がもとになっているということになりました。

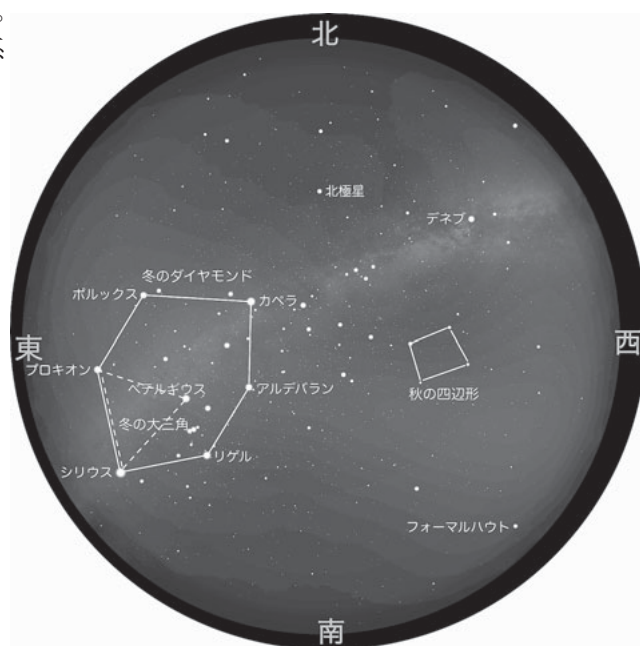
最近では、流星群のもとになっていない小惑星の中にも、彗星としての活動を見せるものが見つかってきます。小惑星の顔をした彗星といって良いかもしれません。観測手法が進歩し、認識が改まっていくにつれ、太陽系もまた賑やかになっていくようです。

12月のぐんま天文台のイベント

- ・ 5日(土) 星空案内みちくさツアー
- ・ 12日(土) 双眼鏡で天体を探そう
- ・ 14日(月) ふたご座流星群説明会・観察会
- ・ 15日(火) 休館(14日開館のため)

○星図の説明

12月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります。(「月」を除く。)



リトルミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品
クリスマスリースを作りました！



たけぶち れな ちゃん



やえざわ あかり ちゃん



やまだ のぞむ くん



あべ けんと くん



※わが家のアイドル(6か月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(*^_^*) ☎26-7944(直通)



本宿 平形 風花ちゃん(2歳)

私の名前は「ふうか」です。

私が生まれた日に、病院の窓から風花が舞っているのを見て、元気に明るく育って欲しいと願いも込めてパパが名付けてくれました。

5月に生まれた弟がとってもかわいいんだよ！

弟のために、歌を歌ってあげたりお手伝いもしてくれてママはとっても助かるよって喜んでくれるよ。

早く一緒に遊びたいね！

こちら「6代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！第22期緑のふるさと協力隊の手柴瑞代です。

もう12月になりました。朝、お布団から出るのが嫌になる今日この頃。それでも村民の皆様がいる限り「協力隊しばちゃん」の活動は続きます。

11月5・6日は、他の協力隊が派遣されている「福島県鮫川村」へ担当者の座木さんと研修に行つて来ました。他の地域を見るのは初めてで、高山村を客観的に見る良い機会でした。

また、14日には「出逢いアウトドア」の婚活イベント「たかやまコン」を開催しました。お陰様で男女各10人ずつ集まりました。あいにくの雨で、



企画していた畑での収穫体験は出来なかったのですが、ぐんま天文台へ行きました。夕方はパーベキューをして更に親睦を深めました。参加された方々がカップルにならなくても、また高山村に遊びに来て欲しいと思います。あと一カ月で新しい年を迎えます。皆さんは2015年やり残したことはありませんか？

高山ぶらぶら <http://taka-midori06.jugem.jp/>